

【株式会社シャープアンドフラットの研究開発成果】

研究開発テーマ名	打楽器専用チューニングセンサの開発
実施期間	平成29年9月～平成30年8月
企業名	株式会社 シャープアンドフラット
共同研究機関	香川高等専門学校 詫間キャンパス
研究開発概要	<p>打楽器の中での音程がありチューニングが難しいティンパニ用のチューニングアダプタを研究・開発した。香川高専詫間キャンパスの三崎・岩本研究室と連携し高専が持っているいろいろなノウハウを取り入れ従来開発していたものより非常に安定したチューニングが可能なティンパニチューニングアダプタを開発することができた。</p>
研究開発成果	<p>小型で他の楽器と一緒に練習していてもチューニングが可能なティンパニ用のチューニングアダプタを研究・開発した。本チューニングアダプタを使用すれば近くで管楽器が練習中でも、合奏練習中でも、本番中でも市販のチューナーによりティンパニの音を選択してチューニングが可能となる。</p> <p>中学校・高等学校の吹奏楽部では演奏に必ずティンパニを使用するため中学校・高等学校等で打楽器担当の生徒への販売を考えている。中学校・高等学校を含む全日本吹奏楽連盟の加盟団体数は14,169団体(2016年10月1日現在)で低音域用、高音域用各5000個以上の販売を想定している。</p> <p>今後はティンパニのチューニング以上に難しいドラムセットのスネヤドラム、タムタム(2個から4個程度)のチューニングアダプタとしての開発も想定して基礎実験を行い製品化の可能性を確認した。</p>



開発したチューニングアダプタ
本体



開発したチューニングアダプタによるチューニングの様子